

- 1 単元名 ゆうすげ村のふしぎ  
～お気に入りのストーリーをみんなに紹介しよう！～
- 2 教材名 ゆうすげ村の小さな旅館（東京書籍3年下）  
ゆうすげ村の小さな旅館（茂子久美子 作 講談社 並行読書で活用）
- 3 目 標
  - 「ゆうすげ村の小さな旅館」のストーリー展開のおもしろさに興味をもち、楽しんで読もうとする。（国語への関心・意欲・態度）
  - お話スタンドにまとめるために、人物の行動や会話などの叙述、時を表す言葉に着目し、人物の性格や気持ちを想像しながら内容の大体を読み取ることができる。（読むこと）
  - 言葉には登場人物の心情が表れていることに気付くことができる。（1）－イー（ア）  
（伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項）
- 4 単元について
  - (1) 単元を貫く言語活動について
 

小学校学習指導要領・国語の第3学年及び第4学年「C読むこと」の指導事項の中から、特に「ウ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。」を取り上げて指導することをねらいとした。その際、「C読むこと」の言語活動例に示す「エ 紹介したい本を取り上げて説明すること。」を通して指導の効果を高めようと考えた。

本単元には「ゆうすげ旅館で起きた他の不思議な物語の中から、自分が紹介したい物語を選び、お話スタンドを作る。」という言語活動を単元を貫いて位置付けた。お話スタンドは、文学作品を紹介するための立体的なリーフレットである。本単元で取り上げるお話スタンドには、自分が想像した主人公や登場人物の人柄、物語のあらすじを書く。そのことで「人物の行動や会話などの叙述、時を表す言葉に着目し、人物の性格や気持ちを想像しながら物語のあらすじをとらえて読む力」を付けたいと考える。
  - (2) 単元設定の意図
 

児童は2年生時に「お手紙」の物語で人物や場面について学習し、また「名前を見てちょうだい」では、場面ごとに人物の行動や気持ちを読み取る学習をした。これらの学習を通して、児童は場面の様子や登場人物の気持ちに気を付けて読めるようになってきている。しかし、場面の移り変えや物語の全体像をつかむ力はまだ十分についていない。

上記のような児童の実態から、本単元では、教科書教材文「ゆうすげ村の小さな旅館」や教材文の出典図書「ゆうすげ村の小さな旅館」に収録されているほかの物語を教材として活用したい。教科書教材「ゆうすげ村の小さな旅館」は、最後に「そういうことか」と読者に気付かせる「しかけ」がある。そのため児童が物語の結末を予想しながら、楽しんで読み進めていくことができる作品である。そして教材文の出典図書「ゆうすげ村の小さな旅館」には、同一人物を主人公にした作品が十二編収録されており、12か月それぞれの月にあった季節感あふれる内容となっている。同一人物が描かれているシリーズ作品を取り上げることは、登場人物の性格や気持ちの変化をつかみやすく、不思議な世界に入り込んでいく楽しさを味わうことができると考える。

指導にあたっては、まず第1次で「ゆうすげ村の小さな旅館」に収録されている他の物語を紹介する。そしてその中から児童にとって興味の高い、そして教科書教材文での学習を生かして読み取りがしやすそうな話を5編選んで読み聞かせをし、その5編の中から自分が一番気に入った作品を選択させる。第2次では、教科書教材文で人物の行動や会話、言葉に着目させながら人物像やあらすじについて考えさせたい。同時に自分が選んだ物語の並行読書を行っていく。単位時間の最後の15分程度や次時の活動に取り入れて、教科書教材文で学んだことを適用しながら読んでいく。そして読み取ったことをお話スタンドに表していくことで、自分なりの読みを深めさせたい。第3次では完成したお話スタンドを紹介し友達と交流することで、物語に対する興味や、自分の想像をさらに膨らませていけるようにしたい。以上のような単元を構想することを通して、「人物の行動や会話などの叙述、時を表す言葉に着目し、人物の性格や気持ちを想像しながら物語のあらすじをとらえて読む力」を付けたい。
  - (3) 単元づくりモデル・四つの手立て・言語活動アイテムについて
 

本単元では、並列型モデル、手立て3、言語アイテムお話スタンドを活用して単元を構想することにした。第2次において、教科書教材文「ゆうすげ村の小さな旅館」を使ってあらすじのまとめ方や登場人物の紹介の仕方を学習し、お話スタンドを作る。その際、並行読書で選んだお気に入りの物語についても、教科書教材文で学んだことを適用させながら読み進め、並行してスタン

ドを作っていく。言語活動アイテムとして活用するお話スタンドのパーツには①主人公「つぼみ」さんの紹介②お客さんの紹介③物語のあらすじ紹介④好きな所、好きな理由の紹介の構成となるようにする。あらすじのパーツには、字数の決まった原稿を利用することで、大事なところを落とさずに短い文章にまとめさせたい。これらのことを通して、本単元で付けたい力に迫り、思考力・判断力・表現力を育もうと考えた。

## 5 評価規準

関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
①「ゆうすげ旅館」で起きる、不思議な物語の中から自分が紹介したい物語を選び、楽しんで読もうとしている。 ②既習の経験を生かしながら、目的に応じた学習計画を立てようとしたり、学習活動全体について目的と照らした振り返りをしたりしようとしている。	③お話スタンドにまとめるために人物の行動や会話などの叙述、時を表す言葉に着目し、人物の性格や気持ちを想像しながら内容の大体を読み取っている。	④言葉には登場人物の心情が表れていることに気付いている。

## 6 指導および評価の計画（9時間取り扱い）

【並列型・手立て3・お話スタンド】

次	時	学習活動・内容	評価規準【方法】
導入	1 2	<b>【「ゆうすげ村の小さな旅館」の物語にふれ、これからの学習の見通しをもつ】</b> ○「ゆうすげ村の小さな旅館」の本の紹介やその中の物語の読み聞かせを聞き、自分が興味をもった物語を選ぶ。 ○これからの学習の見通しをもつ。 <b>・学習課題「「ゆうすげ旅館」で起きる不思議な物語の中からお気に入りのストーリーを選び、お話スタンドでみんなに紹介しよう」を設定する。</b>	②これまでの学習経験を思い出し、学習課題を意識して、読んでみたい物語を考えたり、学習計画を立てたりしようとしている。 <b>【ワークシート、ふり返しカード】</b>
習得	3 4 ⑤ 6 7	<b>【「ゆうすげ村の小さな旅館」を読み、お話スタンドを作る】</b> ○つぼみさんの人物像を読み取り、一つ目のパーツに書く。 ○美月の人物像を読み取り、二つ目のパーツに書く。 ○選んだ物語の登場人物像を読み取り、三つ目パーツに書く。 ○教材文のあらすじをまとめ、四つ目のパーツを書く。 ○選んだ物語のあらすじをまとめ五つ目のパーツに書く。 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">並 行 読 書</div>	①自分が選んだ物語を楽しんで読もうとしている。 <b>【ふり返しカード】</b> ③教材文や自分が選んだ物語の人物の行動や会話などの叙述を手がかりにして、人物像を想像しながら読んでいる。 <b>【ワークシート、お話スタンド】</b> ④言葉には登場人物の心情が表れていることに気付いている。 <b>【ワークシート、お話スタンド、ふり返しカード】</b>
活用	8 9	<b>【お話スタンドを紹介し合い、興味をもった他の物語を読む。】</b> ○お話スタンドを紹介し、感想を述べ合う。 ○友達の紹介を聞いて、興味をもったほかの物語を読む。	③友達の紹介を聞くことを通して、いろいろな叙述からいろいろなとらえ方があることに気づき、想像をさらに深めようとしている。 <b>【ふり返しカード】</b>

7 本時の学習

(1) 目標

人物の行動や会話などの叙述に着目し、そこから想像できる人物像をお話スタンドのパーツに書くことを通して、物語を想像しながら読むことができる。

(2) 準備

学習計画表(ふり返しカード), 並行読書(「ゆうすげ村の小さな旅館」茂市久美子・作 講談社), お話スタンド, 下書き用ワークシート, 国語辞典

(3) 展開

【○補充的指導 ◎発展的指導 評価】

学習活動・内容	指導上の留意点・評価【方法】
<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>好きな場面からお客さんの会話や行動をぬき出し、どんな人物かを考えてお話スタンドのパーツに書こう。</p> </div> <p>2 自分が選んだ物語の好きな場面を読み、登場人物の人柄を考える。</p> <p>(1) 会話や行動を確認しながら、好きな場面を読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「干し柿」の好きな場面</li> <li>・「霜のふる夜に」の好きな場面</li> <li>・「帽子をとらないお客さま」の好きな場面</li> <li>・「天の川のたんざく」の好きな場面</li> <li>・「ゆうすげ村の盆踊り」の好きな場面</li> </ul> <p>(2) 人柄が伝わる叙述を抜き出してワークシートに書き、人物像を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さる → あかるい</li> <li>・おじいさん → ものしり</li> <li>・オニ → せっかち</li> <li>・おばあさん → やさしい</li> <li>・こんのきちぞう → しんせつ</li> </ul> <p>(3) 同じ物を選んだ友達同士で確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の人柄</li> <li>・そのような人柄だと考えた理由や基にした叙述</li> </ul> <p>3 下書きワークシートをもとに、お話スタンドのパーツに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お客さんの名前</li> <li>・こんな人物です!</li> <li>・そのわけは…</li> </ul> <p>4 本時の振り返りをし、次時の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書いてあることをもとに、登場人物の人柄を考えることができた。</li> <li>・人柄を考える理由が友達とちがった。友達の原因もなるほどと思った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時では、お話スタンドの人物像のパーツを完成させるために、自分が選んだ物語の好きな場面から、前時の学習で引いた紹介する人物の行動や会話の叙述を基に、どんな人物かをワークシートにまとめていくことを確認する。</li> <li>・国語辞典を手元に置いておき、分からない言葉は調べるように声をかける。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>③自分が選んだ物語の登場人物について、その行動や会話などの叙述を手がかりに、人柄について考え、お話スタンドの人物紹介のパーツに書いている。 【ワークシート】</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートには、見つけた叙述をそのまま書き抜くように助言する。</li> <li>T1早く終わった児童には、他の場面からも行動や会話を抜き出して考えてみるよう助言する。</li> <li>T2○叙述が抜き出せない児童には、人柄が伝わる言葉を示し、辞典で意味を確認させることで気付かせたい。</li> <li>T2○人物像がなかなか書けない児童には「人柄を表現する言葉」を参考にするよう助言する。</li> <li>◎早く書けた児童には、他の物語や同じ作者のシリーズ本を読んでもるように助言する。</li> <li>・友達との交流を通して、いろいろな捉え方があることに気付かせ、自分の想像が深められるようにする。</li> <li>・グループは同じ物語を選んだメンバーにし、また話し合いやすいように3～4人に編成しておく。</li> <li>・話し合いがスムーズに進むように、司会者を予め決めておき、マニュアルを準備しておく。</li> <li>・誤字・脱字がないか等自分が書いた文章を確かめるよう助言する。加筆修正がある場合には、分かりやすいように朱書きで行うよう助言する。</li> <li>・パーツには、どうしてそのように思ったのかその根拠が分かる叙述を書くよう助言する。</li> <li>・本時の学習で分かったことやできるようになったことについて書くことで、本時で付いた力を振り返れるようにしたい。</li> <li>・児童のがんばりを称賛し、次時への意欲につなげたい。</li> </ul>